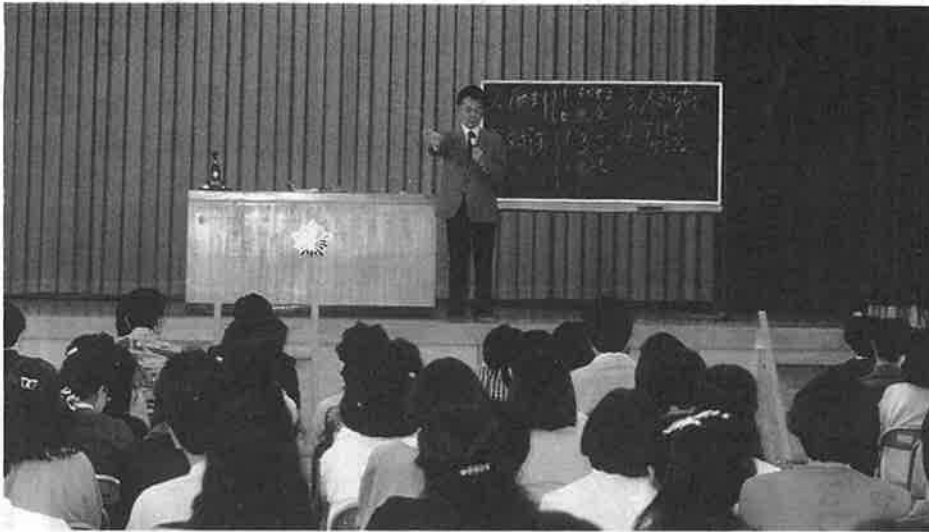


教育講演会

# 真の学力とは何か 親の役割について



具体例をあげ、ユーモラスに話される坂本先生

去る十月三日(日)、羽津北小学校体育館において、教育講演会が開催されました。  
講師として、中央大学の坂本光男先生をお招きし、「真の学力とは何か、親の役割について」と題する講演をしていただきました。



編集発行  
羽津北小学校  
PTA広報部  
印刷  
阿竹印刷工業㈱

第 50 号  
平成5年12月15日発行

### 〔講演概要〕

将来的に子どもにとって重要なことは、

- 自己主張ができること。
- 共同で考え、行動できること。
- 暴力を否定すること。
- よりすばらしいものを追求すること。

の四つである。こういう観点で見守れば、しっかりした子どもに育つ。

具体的に何をすればよいか。

#### ①子どもを励ます

日常の役割分担を通じて、父母にしか言えないことはかける。

#### ②対話する

話す、聞く、一緒に考える家庭の雰囲気をつくる。

#### ③大きい声で読ませる

表現力を養い、進歩がわかる。

#### ④テレビ、ファミコンを制限する

読書力、書く力を衰えさせるため、時間を約束し守らせる。

#### ⑤へりかえしやらせる

学力向上は、どれだけへりかえし覚えたかによる。

#### ⑥質問をさせる

質問ができるということは、わかったことと、わからないことがわかるということ。わかれば、学

## PTA会長を 引き継ぐにあたって



赤尾 敏

歴史といつても子どももなら十歳、まだ小学四年生です。

校庭の樹木などは、ようやく根付きだした頃でしょう。なかには、いまだに根をはれず、咲こが枯れよかという状態の木もあります。

台風で倒れたヒマラヤ杉だけでなく、大人がもたれるだけで、根もとから傾く木も少なくありません。

このほかにも、われわれが前向きに取り組んでいかなければならない課題が、たくさんあります。

その礎となるものをつくり、次代に引き継いでいくためにも、会員の皆様より一層のご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

また、年度当初の目的である低学年図書室の整備、運動遊具の充実なども先生方のご配慮、お力添えもあつて、着実に実施されております。

しかし、われわれも手放して喜んでばかりいられません。十年の力は伸びる。

できない子はいない。がんばれる条件つくりをし、励まし、持てる力を引き出すとき真の力がつく。学力とは、成績だけを言うのではない。人間のもっている知力の総合的なものを言う。



新しく整備された低学年図書室

### くやしかった徒競走

四一二 森 和輝

九月二十八日、運動会の日。徒競走で、あと10mあれば、きつと三位に入っていたと思う。スタートする前にドキドキしていた。

## 運動会の思い出

H5.9.26

べんべん差がちがまつていく。もう、差は→EVENになってしまった。そのころゴールした。四位になってしまった。  
ほくほくはくやしかった。「あと10mあったらぬかせたのに」と思っている。でも、練習のときは、五位だったから、ちよっぴりうれしかった。

### 玉入れ

一一一 こいえ しゅう作

おとといつんどう会をしました。玉入れをしました。玉入れで、いちばんになるといいなと思いましたが、行しんがかわって、白いせんのまわりに行きました。ドキドキしているうちにぶえがなりました。それで玉をなげました。一つ目は入ったけど、二つ目はなげすぎて入りませんでした。それで、下におちていたのをひろって、またなげようと思っていたら、上から玉が落ちてきてあたりにぶつかりました。あわりのふえの合図がなりました。青組は48こ入っていました。一ばんになりました。うれしかったです。

### かけこいで田んぼになった

一一三 ないじょう やすし

ぼくね、かけこいでね、「これいになるかな」と思ったらね、4いになったんだよ。  
ラジオたいそうでね、くびがおれそうになったんだよ。  
あどりのどうぶつのおころで、ひとりもたべなかつたんだよ。  
こうかだね、おもいきりうたったよ。



### たまいれ

一一一 おしかね さとみ

わたしは、うんどつかいで、たまいれをしました。れんしゅとおんなじだったよ。一ばんはあおぐみで、二ばんはきぐみで、さいごはあかぐみだったよ。うんどつかいもおんなじだったから、うれしかったですよ。

## 楽しかった 自然教室



七月一・三日、五年生が、水沢少年自然の家へいきました。一日目は雨天のため伊勢型紙をしました。夜は体育館でキャンドルサーピスをして楽しみました。  
一日目のウオークラリーは班で協力してクイズを解きながら競走しました。

### 一日いっしょ

みんなといっしょに

五年一組 荒木 裕子

七月二日、三日に五年生のみんなと自然教室に出かけた。学校とはちがって、みんなと朝も昼も、そして夜もいっしょだから楽しかったです。

前の日にカバンが大きいかなあと思っただけど、そうでもなかった。自然の家に着いて、予想とはちがうけど中を見たりして少したつたら気に入った。部屋は広いところもあって、そこには、たくさんの二段ベッドが並んでいた。昼ごはんは、雨だったので中で食べた。外でもよかつただけど中も悪くはない。

い。昼食のあと、トイレ休けいなどしていたら夕食になった。そして、いよいよキャンドルサーピスだ。こんな時間でもみんながいる。自然教室だからあたり前だけれど、うれしいものだ。ゲームや出し物も終わって、いよいよウォークダンスだ。最初は、きんちようしててもあとからのつぎきて、みんなアンコールをいいだした。先生が練習はいやでも本番だとアンコールをしたくなるようになっていたのがあった。もつつかれてきた。でも、なぜかもつとおどりたい。学年のみんなといるのがこんなに楽しいものとは思わなかった。最後にみんなで「今日の日は、さようなら」を歌った。そして、何度も何度も歌って部屋にもどった。





### 人いつばい、夜の新京極

六一一 安藤 布由子

わたしは、修学旅行で一番楽しかったのは新京極です。

七時にならんでかけました。少しいくとお店のある所に入っていきます。だんだん人も増えてきました。真ん中のふん水の所で解散しました。もう人がいつばいで、高校生や中学生の人にぶつかりそうでごわかったです。

班のみんな面白いものがないかというんな店をみてまわりました。買い物をするのは楽しいけど、えらぶのがたいへんでした。

妹にはかわいい人形がすぐ見つかりました。なやんだのはおじいちゃん、おばあちゃんです。苦労したがいがあったのでなかなかいい感じでした。

十月十八、十九日は、子どもたちが待ちに待った二泊三日の修学旅行でした。

天候にも恵まれ、けが人や、病人も出ることなく、元気に行つてくれました。

友達としての結びつきも一層深まったようで、どの子の心にもよい思い出として深く刻まれたことでしょう。

#### 一日目

法隆寺→東大寺→清水寺→新京極

#### 二日目

三十三間堂→一条城→金閣寺→東

映画村→銀閣寺



長生きの水、頭がよくなる水、美人になる水、みんな必死で飲んでるね

のが見つかりました。おばあちゃんにはきれいなおさいふ。おじいちゃんには五重の塔のかへかけ。自分には小判を買いました。

あつという間に時間がすぎ、ここではお父さんとお母さんのものは買えませんでした。夜の新京極はとても楽しかったです。

### 修学旅行の思い出

六一一 赤尾 早名恵

私が修学旅行へ行って思ったことは、いろいろあつたけど、とても楽しかったのであつたという間に終わってしまったといふことです。それがとても残念でした。

聖徳太子が建てた世界最古の建物、法隆寺、五重のとうがすてきで中に入つてみたいくらいでした。若草山は鹿のふんがいつばいあつたけど、鹿はすごくかわいかったです。おとなしかったです。東大寺では大仏さんの鼻の穴と同じ穴を通つたりもしました。

新京極で買い物をして旅館に帰ると部屋に男子が入ってきました。そこでさぶとん投げが始まり、だいぶさわぎました。痛かったけどすつこく楽しかったです。消灯時間が過ぎてからも、みんなで部屋の真ん中でかい中電灯をつけてすつこくわい話をしていました。帰りのバスの中では少し眠りましたが、この二日間とつてもつても楽しく、おもしろく過ごさせて本当に良かったです。

### 楽しかった修学旅行

六一三 河本 頼子

最初に行つたのが法隆寺、次が奈良公園の若草山でした。

若草山ではお弁当を食べるのでなるべくしかのふんが少ない所をさがしました。でも、すべるのでお弁当どころじゃなく、足を土にはめる形でやつとすわりました。

その後、二月堂、三月堂に行き、途中で外人に

「二月堂、ごいですか」

と聞かれたので教えてあげました。

また、お金がいたので、

「大人は、五百円いる」と教えてあげると、

「高いですね」

と言っていました。

それで私は、

「今、不景気で高いのよ。米も高いの。今年は冷夏でね」

と言うと、首をかかしていました。

でも、奈良で外人に親切にしたこと話せたことは、とてもよかったです。



おみやげいつばい



つたと思います。

また、よかつたことは、旅館です。旅館に着いた時、あまりによく、食事がよかつたのにはおどろきました。

夜は、まくら投げをしたり、男子の部屋に行ったり、カラオケをしたり、飲んだり、食べたり、テレビを見たりしてさわいでいました。楽しかったです。

新京極では、おみやげをすべてすませました。でも、にぎわいが四日市よりもすごかつたのにはおどろきました。

最後の見学場所の映画村では、撮影は見れなかつたけど、セットをいろいろ見れてよかつたです。帰りのバスの中では、カラオケをして楽しみました。

長かつたようで短かつた楽しい修学旅行でした。

フラワー・プラボーコンクール

FBCOに参加して

寺本 芳隆

昨年度は創立十周年を記念して花壇の整備が行われ立派な花壇ができました。それにとめない学校に緑を増やそうということで、全校でグリーンマーク収集運動に取り組みました。

この花づくりの特色は、児童が力を合わせて取り組むところに意義があります。また、この活動を通して、やさしい心で花に親しみ、美しいものを大切に作る心情を育てたり、作業活動を通して、働く

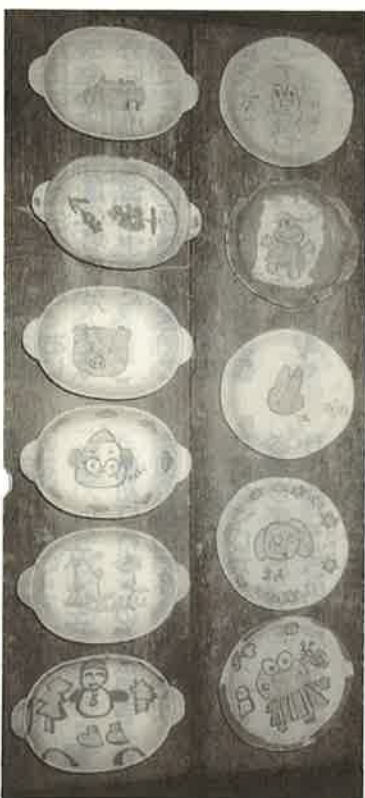
尊さを体験したりする中から教育的にも大きな効果があると考えています。

一年目の今年は、主に六年生と栽培委員会が中心となり花壇づくりに励みました。春から夏にかけて児童自らの手で行った土づくり、ポットへの苗の植え替え、花壇への定植、水やり、除草など、どの活動も初めての体験で児童も積極的に関わりを持ちました。しかし、冷夏や台風の影響でサルビアなど



中央に赤いサルビア、周りに黄色のマリーゴールドを配置した秋花壇

何度植え替えても枯れてしまったり、土が少なく雨が降ると花壇が水びたしになるなど花を育てる苦労も体験しました。今は、春花壇用のパンジー、ビオラなど約二千本の苗を児童が育てています。きつと入学式の時期には、きれいな花を咲かせ花壇に彩りを添えてくれると思います。



陶芸教室

楽しかったネ

見て美しいと感じる心、やさしい心、また自然に対して興味や関心を持つ児童が育っていくような活動にしていきたいと思っています。  
※FBCO県、県教育委、中田新聞本社共催。

文教部長 西川 祐子

今年も、十一月六日(土)に陶芸教室を開催いたしました。

陶芸家の市川先生をお迎えし、グラタン皿と小皿に絵付けをすることになりました。



春をまつパンジー、ビオラの苗

当日、お忙しいなか、先生をはじめ百名のみなさんに参加していただき、本当にありがとうございました。

はじめは、「こんな下絵を描こうかな」と



絵付けの説明を熱心に聞く参加者

「この色を塗ったらどんな色にできあがるのかな」と、なかなか筆が進まなかつたようでした。

時間がたつにつれ、「ワー、ステキ」「上手だね」という声があちうちから聞こえてきました。



来春に向けて行進/一運動会での来入児競技を終えて一

編集後記

来入児を待つように、春花壇を色どるパンジーなどの苗が、すくすくと育っています。行事が沢山あり、いそがしい一学期でした。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

そして、描きあがった作品は、プロ顔負けのできれば、皆とワイワイガヤガヤと楽しい陶芸教室を開くことができ、本当によかつたと思います。